

# 静岡県支部会報

第19号

日本大学通信教育部校友会

平成27年12月1日発行

## 【ご挨拶】

### 静岡県支部長に就任して 支部長 後藤 正 治

静岡県支部長に就任した弁護士の後藤正治です。よろしくお願ひいたします。

前石川貞夫支部長は、18年間、この職に就任され、熱心にしかも精力的に静岡県支部の活動を進められてきました。私は、杉山秀夫、小松征夫副支部長、そして、役員の方と共にお手伝いをしてきましたが、石川前支部長の活動にはいつも敬服しておりました。

石川前支部長から、支部長の辞任と私への就任を打診されてきたのが、2-3年前です。私が固辞したのは、他に適任者がおられること、私では、石川さんの活動内容に到底及ぶことができないと考えていたからです。

しかし、石川さんが高齢となり、いつまでも就任を続けるわけにはいきません。通信教育で私の人生が始まったことからすると、お返しをしなければいけない。このようなことでお引き受けすることにして、10月3日の総会で選任された次第です。

どこの団体でも課題が多くあります。当支部でも同様です。ただ、数多くあるように見える課題は、一つと考えています。それは、会員の皆さまの多くが参加されることです。これがあれば、支部は、充実していきます。皆さま、よろしくお願ひいたします。

私の通信教育生活は、私の人生の原点です。通信教育を学んだからこそ、司法試験と会い、弁護士の道に入ることができました。原点であることの意味は、次の日記に現れています。

1965.8.25 (水) 21才

スクーリングで司法試験を決意した。経済学部をいやになった。法学部へ転籍したい。けど、司法試験受験資格は一般教育36単位とっていればよいのなら経済を終わってから法学部の聴講生になるか、それとも、再び法学部へ入って司法試験を目指して頑張ってみるか。

これからの生活を整理しよう。自分の目的を目指して「読む本」文学をなるべく少なくして、目的に直接合うような具体的な本を読む。教職試験用の本、公務員試験用の本、「法律の本」司法試験用それに合わせて労務管理、行政、司法書士の方も考えて。

1966.2.23 (水) 22才

レポート現在15通 後14通

いっこうに進まず。日に日に私の義務が増大し、早く解決せねばならない問題として、迫ってくる。しかし、時というものを認識すればするほど、未来が現実となってどんどん過ぎさってゆく。勉強する時間がほしい。これが、私の信念から発し、根底にある。

だが考えてみれば、勉強できる時間を私は、無益に送っている。勉強が実行されていない。彼の如く、「君はいうだけだ」の様だ。内的矛盾の私を、私は、みつめたが、解決されていない。「いうだけの俺」？

私は、豆腐屋をやりながら、苦悩し模索している過去の自分を見ると、「努力が足りないぞ」と現在の自分がだらしく思えます。通信教育を卒業した方々は、それぞれ違った環境ですが、レポート作成と科目修得試験に苦勞し、卒業してきたことは、同じです。卒業したあとも、校友会で共有

し、目標に生きた過去の努力を今の生活に活かせる場にしたいと考えます。

2015. 10. 15 記／(経 S 4 2)

## 支部長退任にあたって

支部長 石川 貞夫

このたび、10月3日(土)本年度静岡県支部総会において、私は支部長の役を辞し、後任は後藤正治副支部長に担当していただくことになりました。平成9年11月から18年間、私には身に余る大役でありましたが、副支部長3名と幹事長ほか役員の方々と支部会員の皆様の真摯なお力添えや励ましにより、お蔭様でなんとか今日を迎えることができました。まことに有り難うございました。皆様に厚く御礼申し上げます。

また皆様御承知のとおり、弁護士の新支部長は人物・識見・経験すべてに卓越されておられ、視点が的確で、私は心から信頼している方です。あらためて皆様よろしくお願い申し上げます。

私は平成9年10月定年退職のとき、先輩の猿渡光通教部校友会会長から、当時の杉山秀夫支部長が市の要職にあり大変忙しく、支部長を交替したい希望があり応援をしてくれといわれ、杉山さんには副支部長としてご協力いただくことを条件で会長に回答し支部長を引き受けました。今になってみれば、在任中、多くの良き知友を得ることができ、方々に助けられた自分は幸せ者だと思っております。また、皆様にご迷惑などおかけしたことも多々あったことと思いますが何とぞお許しいただきたく、これからも、よろしくお願い申し上げます。

私は、昭和28・29年度に三島市にある日本大学短期大学部商経科二部に学び30年3月卒業と同時に通信教育部に3年編入しました。2年間で卒業する心算でおりましたところが思ったより困難なことが待っていました。スクーリングや夏期講習です。短期大学(夜間部)の通学は、職場の上司・先輩のご好意で通学でき、出席日数もなん

とかクリアすることができ卒業しましたが、通信教育部の学習体系では、そうは問屋で卸してくれません。学友の協力も得て実際に東京まで行って集中的にこなすことに努力しましたが、勤め先にはそこまで甘えることは出来ません。やむを得ず中退しましたが縁あって日本大学の職員に転職し、早速復学して夏季休暇などにも助けられ37年3月に卒業できたという次第です。編入学後の基準学習期間2年間を通算7年かけて卒業したわけですが自分にとっては大きな収穫になりました。

今は、体系や方法などが著しく改善され、インターネットのお蔭で学習が容易になり、特に昨年からは市ヶ谷の大学本部隣に学習センターが整い充実し利便性がよく評判が伝わり、新入生も増えているということです。まことに感無量、嬉しく思っております。(経 S 3 7)

## 【報告】

### 通信教育部校友会

#### 第44回定期総会報告

平成27年度の総会は、27年5月23日(土)に日本大学桜門会館において開催され、全国から多数の校友および副学長加藤直人・通信教育部長福田弥夫両先生ほか多くの来賓のご出席をいただき盛大に行われました。当支部からは、石川貞夫支部長と坂田弘明・繁田雅希幹事が出席しました。

今年は、市ヶ谷の通信教育部新館に事務局が移転したことともなう会則の改定があり、また会員にお願いというかたちで、日本大学校友会正会員(会費年額10,000円)への入会(図書館閲覧可能他恩典あり)案内と、その際、現会員を含めて、所属(卒業)学部を文理・法・経済・商学部などと記さず、まず通信教育部と記入して、続けて上記学部名を書いて頂きたい。その理由は、納入された会費から一定の割合で、卒業学部として記入された学部校友会に、補助金が配分交付される規定になっていることによります。ということでご協力下さいますようお願いがありました。

## 平成 26・27 年度静岡県支部総会報告

支部報発行は、昨年までは総会前、今年は支部長交替のため総会后で。よって2年分になります。

### ○「平成 26 年度」

平成 26 年 10 月 4 日（土）午後 4 時から静岡市の静岡労政会館において支部会員 12 名の出席をえて開催しました。

杉山秀夫副支部長の司会進行で、物故会員への黙祷、石川支部長挨拶の後、議事に入りました。

25 年度の事業報告・収支報告・監査報告、26 年度の事業計画について、田中幹事長・土屋会計監査の説明があり承認されました。役員について、藤田茂愛知県支部長が担当していた副会長・東海ブロック長について任期（3 年）満了により石川支部長が就任したこと、支部報（18 号）の発行、第 43 回定期総会の報告が行われ承認されました。

総会後の講演は、午後 4 時 45 分から国際関係学部陳文挙準教授による「中国経済の構造転換とサービス化について」の演題で行われました。

要旨は、中国の経済・産業の現状は第 3 次産業であるサービス産業の成長過程に入っている。全体的には高度成長から安定成長期に入っている。また急激な都市化を背景にターニングポイントに差し掛かっている。日本の経験は多いに参考になっている。などの内容でした。

### ○「平成 27 年度」

平成 27 年 10 月 3 日（土）午後 4 時から三島市の日本大学国際関係学部 15 号館において、会員 14 名の出席を得て開催しました。

杉山秀夫副支部長の司会進行により物故会員へ黙祷を捧げ、石川貞夫支部長挨拶の後、議事に入り平成 26 年度の事業・収支・監査の各報告と第 44 回通信教育部校友会定期総会報告は承認・了承されました。続いて、石川支部長の辞任申し出の件についての審議に入り、任期半ばであるが年齢（83 歳）と健康上の理由はやむを得ないこととして認められ、後藤正治副支部長が後任支部長に

決定し、石川前支部長は顧問に任命されました。なお、それぞれ退任は 9 月 30 日、就任は 10 月 1 日付となりました。

恒例の講演会は、国際関係学部助教武井勲先生（博士・テキサス大）の「アジア系アメリカ人の歩みと現在」の演題で講演いただきました。

アメリカを構成する人種とその溶け込み様、過去・現在の移民のことなど、アメリカを理解するための基礎になる内容でした。ちなみに昨年の日本人留学生は最多時の 47% 約 2 万人に過ぎず 7 位で、中国人は 27 万 4 千人超でトップでありますが、一般的に空気は日本人留学生に好意的な面もあるようです。

いつものことですが講師も交えて懇親会はおおいに弾みました。

## 平成 27 年度東海ブロック総会報告

愛知・岐阜・三重・静岡の 4 県から成るブロック会は、岐阜県の当番で、本年度就任された藤澤隆一支部長にお世話いただき岐阜市で開催しました。次第等は、日時 27 年 10 月 18 日（日）、場所 岐阜駅併設ハートフルスクエア G、議事等・①大学および校友会の現況 ②各県支部の状況報告と今後の活動 ③写真撮影と懇親会、です。来賓は大学から福田弥夫通信教育部長、通教校友会本部から鎌子健組織部長兼関東ブロック長、のお二方のご出席をいただき、ブロック長を含む各支部長ほか計 9 名、合計 11 名の出席で開かれました。結局共通課題は、入学者・卒業者が減少し、年齢層や校友としての社会的意識の変化、個人情報保護の問題等で運営が難しくなっている。科目履修者もその気があれば同じに遇するが把握が難しい、校友会は成立していない県がでていて通信教育部では見直し検討の課題になっている。などでした。静岡県支部長挨拶として、後藤新支部長から、難しい現状の中、今の生活に活かせる場としての校友会づくりを相互協力で目指しましょうと提言がありました。

## 平成27年度の支部役員会

### ◎第1回幹事会

6月13日(土)午後5時から静岡市南町庄やにおいて下記内容で開催。出席者7名で、協議事項は ① 26年度事業報告 ② 27年度事業計画 ③ 支部会報第19号発行について ④ 支部総会開催日は10月3日(土)で東部地区が担当し日本大学国際関係学部15号館とする ⑤ 東海ブロック会は岐阜県が担当し、日程は10月17日(土)あるいは18日(日)で調整中 ⑥ 5月23日(土)の校友会第44回定期総会報告 ⑦ 石川貞夫支部長から本年の総会をもって支部長退任(高齢と体調変化による)の願い出と対処について。という内容です。

### ◎第2回幹事会

8月8日(土)前回と同じ場所・時間で開催、出席者8名。協議事項は ① 26年度収支報告 ② 支部総会について ③ 東海ブロック総会(10月18日(日))の出席予定者の確認 ④ 支部会報第19号発行について ⑤ 支部長交替の件について。という内容です。

### 【寄稿】

#### 温泉探訪

後藤正治

日大校友会で、多くの方と交流を図る意味で、1年に1回、温泉旅行を企画するのも良いではないでしょうか。なにか他にも良い案があると思います。ご意見いただければ幸いです。そんな意味で、この文章をお読みください。

#### — 究極の温泉 —

日本人は、温泉が好きだ。私も、温泉が好きで、旅館に泊まる時の楽しみの一つは、温泉である。長野県松本市、乗鞍高原温泉の「やまぶき」という宿に泊まるようになり、この宿のリピーターになったが、この宿で、何か、心に残るものを感じた。何だろうと、考えたところ、温泉だった。こ

こは、内湯と露天風呂があり、白濁の温泉である。露天風呂の浴槽の中、手で下を探ると湯の花がたくさん沈んでいて、かき集めると両手に溢れる。雨の日は、三角の笠をかぶり風呂に入る。雪の日は、しんと降る雪に囲まれて、浴槽の縁に両手を添えて雪景色に浸る。大きくない宿なので、一人二人で、露天風呂にのんびり入る。私は、この温泉で心が和んでいたのである。ほかの宿の温泉に入ってきたが、なぜか違う。私は、今まで、温泉が好きだと言っている、温泉を知っていないのではないか、と思った。

#### 1

こうして毎晩、ipadで温泉を調べるようになった。調べた結果の一つは、温泉は、源泉かけ流しがよいことである。温泉施設は、全国で2万件ほどある。この8割がたは、循環濾過式で、塩素などで殺菌をして温泉を再利用する。2割くらいが源泉かけ流しである。源泉かけ流しと言うのは、温泉を循環せずに、そのまま浴槽から排出して捨ててしまう方式である。どうして源泉かけ流しが良いか、というと、地中から湧いてくる温泉は、酸素に触れておらず、酸化していない新鮮な状態である。湧いたとたんに酸化が始まり、温泉としての効能が減縮されていく。鉄分を含む赤い濁り湯は、長野県長野市の国民宿舎松代荘の温泉のように当初、透明な状態で湧出し、時間とともに酸化して、赤くなっていく。万座温泉・日進館の白濁の湯も、当初は、透明で湧出し、時間とともに温泉の中に含まれている湯の花が結晶化して白くなっていく。これらの源泉かけ流し温泉と異なり、循環濾過式では、酸化された温泉が循環し、これに入るので、温泉の意味が薄れる。こんなわけで、温泉は、源泉かけ流しに限る。野沢温泉などでは、温泉組合自体が「日本源泉かけ流し温泉協会」を結成して地域全体を源泉かけ流しとして標榜している。

#### 2

すでに源泉かけ流しを意識されている方は、温泉について、一家言を持っていることになる。しかし、源泉かけ流しを意識するだけでは、まだ

究極の温泉にはたどり着けない。湯量が豊富であることが大切である。大きな旅館、大きな日帰り温泉施設の場合、源泉かけ流しを維持することは難しい。一つの施設の源泉が湯量400L/分というのは、大したもの、このような源泉を持っているところは、湯量をHPなどに書いている。湯量を書いていない施設は、少ない湯量ということになる。山梨県の日帰り温泉施設「はやぶさ温泉」、「旭温泉」「山口温泉」、の湯量が多い。お洒落で、食事も行き届いているのは、箱根湯本温泉の天山湯治郷であり、ここは、ナショナル・ジオグラフィックの「究極の世界旅行」日本の文化温泉で紹介されているので、世界中からのお客が探訪している。地域で温泉の湯量が多くても意味はなく、利用する施設の源泉の湯量が多いかどうかである。湯量が多いところでは、湯船の温泉が早く交換されるので、新鮮であり、肌に新鮮さを感じる。

### 3

源泉と浴槽との距離も大切である。距離が短ければ、湧出した温泉が酸化しないうちに入ることができ、距離が長ければ、酸化が進んだ温泉になる。これは、湧出した温泉に当日入るか、貯めた温泉に翌日入るかのようなことである。引湯の距離が短い方がよく、できれば、その場の温泉に入ることがいい。いわば、水を飲む場合でも、湧水をその場で、飲む方が身体にいいのである。

### 4

温泉は、高温泉42℃以上、温泉34～42℃未満、低温泉25～34℃未満、冷鉱泉25℃未満の区別がある。高温泉は、温度のさまじ方で苦勞する。とりわけ90度、100度となると、さまじ方は、尋常ではない。① 加水するのが良いように思えるが、温泉成分が薄まってしまう。簡単に加水しているところは、温泉にポリシーがないことになる。② 湯口を細くして、少しずつ入れる方法がある。高温泉でも低い温度の場合、対応できるが、90度等の高温泉では、なかなか浴槽に温泉がたまらない。③ 塩を蒸留するには海水を竹のすだれをたくさん重ねた棚に流して水を蒸留するそうである。この方法で温度を低くする

ことに取り組んだのが、「湯雨竹」と言われる方法である。この方法だと、100度近い温泉も、竹の棚に落とした後は適温になる。面白い方式であり、静岡県伊豆では、船原温泉の「ほたる」、下賀茂温泉の「ホテル河内屋」は、この方法を採用している。源泉かけ流しを如何に実現するかの大いなる工夫である。④ 私は、冷たい水の中に管を通し、この管に熱い湯を通す熱交換システムの方が温泉の酸化を進めないのが優れていると思うが、この方法は、川に近く冷たい水の供給が可能であるなど、また、大きな費用がかかるものと思う。

他方、冷たい温泉がある。温泉法では、25度未満であっても、1kg中に1gの温泉成分が含まれていると、温泉となる。この場合、加温しないと入れない。多くの施設では、冷鉱泉そのものの浴槽と加温した浴槽の二つを用意する。これを交互に入るのである。長野県諏訪郡下諏訪町の毒沢鉱泉「神の湯」、福井県三方上中郡若狭町、虹岳島温泉「虹岳島荘」は冷鉱泉である。

### 5

江戸時代は、自噴泉でしかない。時代が進み、科学技術が高度化して掘削技術も高くなると、昔では想像もつかない1000mもの深さを掘削して温泉を掘り当てる。お湯を地上に上げるのも動力を使う。いわば、力任せにお湯を汲み上げる。この方法によると、自然の湧湯能力を超えて、地下から揚げてくるので、温泉成分も時を経て形成されるはずの成分が壊され、掘削が競争になると、枯渇してくる。従って、自噴泉が自然に優しい。これにも、掘削自噴泉と自然湧出泉とがある。自然湧出泉は、歴史的に古く、新しい温泉にはほとんどないだろう。

### 6

日本温泉協会は、温泉に成績表を付けている。温泉協会の点数は6科目の5段階評価である。オール5点もあれば、オール3点もあり得る。論理的に評価法を見ると、① 源泉自体の能力（自噴泉など湧出法、温度、湧出量、泉質） ② 施設の浴槽に対する行為（01 循環濾過か、源泉かけ流しか 02 加水、加温の有無 03 浴槽に温泉

が満杯になる時間—湧出量が少ないにも関わらず、浴槽が大きいと長時間となる 04 消毒剤など添加の有無) ③ 源泉と浴槽との距離である。このような評価をもとに、オール5点を取った施設は、群馬県鹿沢温泉 紅葉館雲井の湯、群馬県法師温泉 長寿館、山梨県石和温泉 旅館深雪温泉、山梨県下部温泉 古湯坊源泉館、長野県小谷温泉 山田旅館、山口県川棚温泉 小天狗、長崎県雲仙温泉 いわき旅館など数少ない。また、日帰り温泉施設も、オール5点を得ているところがある。

## 7

このように良い温泉の要素を学んでくると、「究極の温泉」の方向性がわかる。オール5点の施設は、そうあるものではないから、申し分のない温泉施設であるが、オール5点の施設が究極の温泉というわけではない。こうなると、もう独自独断の話になる。私は、足元自噴泉を究極の温泉と考えている。足元自噴泉というのは、文字どおり足元から温泉が自噴してくる温泉である。温泉の湧出場所自体が湯船になっている。この温泉は、条件がなかなか難しい。①自噴泉である。②冷鉱泉では、冷たい、高温泉では熱すぎるので、温泉が湧いている場所を湯船とするわけにはいかない。温度的には、30度～42度の範囲内である。③場所も湯船とできる位置になければならない。こうなると、温泉施設のほとんどがこの条件をクリアできなくなる。この究極の温泉は、北海道 からまつの湯(野天)、群馬県法師温泉 長寿館、山梨県下部温泉 古湯坊源泉館、長野県白骨温泉 新宅旅館、青森県 谷地温泉などがある。

私は、温泉とは何かを考えるようになって、究極の温泉の条件までたどり着いた。足元自噴泉を紹介している「奇跡の湯 ぶくぶく 自噴泉めぐり」(山と溪谷社)の本を参考に平成27年3月から「究極の温泉巡り」を始めた。

奥蓼科温泉郷の洪御殿湯は、山小屋のようだと家内には不評であったが、湧き出る足元自噴泉は、本物で驚嘆するものだ。下部温泉の源泉館は、湧

出量415L/分の足元自噴泉は素晴らしく、家族に大評判であり、白骨温泉の新宅旅館は、足元自噴泉にはほど遠かったが、白濁の湯・食事・部屋、すべてがグレードの高い内容だった。北海道、養老牛温泉のから松の湯は、雪に囲まれ、露天ならぬ野天であったが、お湯の新鮮さは強烈だった。

「自噴泉めぐり」の本に従い、探訪してみると、この本には、間違ったレポート部分もある。しかし、これから当分の間、足元自噴泉、そうでなくとも湯量の多い源泉かけ流し温泉を訪ねていく旅をするだろう。本物の温泉に巡り合って、「至福の時」を感じる以外、ほかに何に巡り合うのだろうか。これも訪ねたい。

2015.10.15 (木)

日本大学通信教育部校友会 静岡県支部長  
のぞみ 法律事務所

所長 後藤 正 治

(昭和43年経済学部卒)

構成 弁護士	後藤真希子
同	山本 孝介
同	山本 諭
同	林 克樹
同	姉川 博之

〒410-0831 静岡県沼津市市場町12番7号

電話 055-941-7000

日本大学通信教育部校友会 副会長

同 東海ブロック長  
同 静岡県支部顧問

石川 貞 夫

〒411-0907 静岡県駿東郡清水町伏見260-7

電話 055-975-5977

## 日大の思い出

袴田 穂子

## 会費納入のお願い

### — 〈前文略〉 —

支部会報（第18号）に文芸寄稿のお知らせを目にし、下手でお恥ずかしいですが短歌を心に浮かぶまま記してみました。どうか御笑覧下さいませ。一人暮らしのマンションでお茶の稽古、日舞・箏の練習で余生を楽しんでおります（全てボケ防止のため）。おかげで多忙、今のところ足腰丈夫でよく出歩いております。

日大での夏のスクーリングの思い出沢山あり、なつかしさに浸っている今日この頃です。

### — 〈中略〉 —

※霜月15日 竜馬忌記す

（※注：このお便りは平成26年末にいただいたものです。）

### 短歌七首

日大の通教卒業し六十年

夏の宿舎の思い出多し

朝まだき靖国神社の境内で

テキスト片手に苦学せしこと

世田谷の体育祭は楽しけれ

手をとり合うてスクエアダンス

日大の仲間と登りし富士の山

御来光拝みし感動今も忘れじ

日大の弁論大会優勝の

愛媛の人の健康祈る

日大の芸能大会懐かしく

アルバム繰れば箏弾く我若かりし

県人会の友の夫となりし人

千の風となり妻を見守る

### 略歴等

卒業 文理学部国文学科昭和29年3月卒業

忘れじの恩師 榎木一策先生 二瓶時男先生

当時の宿舎 二松学舎（靖国神社の近く）

現況 小・中学校教員生活40年、今は茶道裏千家 教授

静岡市 在住

静岡県支部会費は年額1,000円です。

この会報をお受け取り次第、お忘れの無いよう同封の郵便振替用紙を用いて振込んで下さい。

予算は大切に使用させて頂いており、支出にあたっては、必要最低限度での使用を心掛けております。ご理解とご協力を切にお願いいたします。

ご寄付は多少にかかわらず歓迎いたします。

### 〈振込先〉

振替口座 00880-7-35164

日本大学通信教育部校友会 静岡県支部

### お知らせ

今回から、運営収入の一助にするために広告を掲載することにしました。当面は名刺形の大きさ程度の場合一マス1万円で受けたいと考えております。自営業に限らず、ほかにも、たとえば趣味の友集めなどにも利用できるかと思えます。ご協力下さいますようお願いいたします。

### 編集後記に代えて

今回は支部長交替関係の記事掲載等のため発行が遅くなりました。悪しからずご了承ください。

袴田様、御寄稿有り難うございました。いろいろ記憶が蘇ります。元気さを感じます。

随筆・紀行文・和歌・俳句など、皆様のご寄稿を心からお待ちしております。

生きていくことには、さまざまなかたちがありますが、良い意味でねばり強く、しかし無理はせず、生きて生きていきたい、と思っております。

来年も良い年になりますようお祈り致します。

発行人 石川貞夫 電話 055-975-5977

事務局 田中由雄 電話 055-987-7880

渡辺孝哉

日本大学通信教育部校友会静岡県支部

〒411-0044 三島市徳倉2-29-9

田中由雄 方

# 平成26年度 通信教育部校友会静岡県支部収支決算書

自 平成26年4月 1日  
至 平成27年3月31日

## 収入の部

科 目	金 額	摘 要
	円	
前年度繰越金	166,274	
会費収入	70,000	70名分
総会収入	38,500	@3,500×11名
寄付金収入	4,000	1名分
雑収入	86,883	会報発送代本部からの補助(78,000円)
前受金収入	11,000	6名分
合計	376,657	

## 支出の部

科 目	金 額	摘 要
	円	
消耗品費	83,620	封筒・ゴム印・文具・印刷代
通信運搬費	96,296	幹事会・総会案内郵送料
会合費	49,900	総会時懇親会
手数料・報酬	58,640	総会時講演料・会場使用料・事務処理費
雑費	5,000	通信役員年会費・総会関係補助
次年度繰越金	83,201	普通預金・郵便振替口座にて保持
合計	376,657	

平成26年度収支について、関係帳簿並びに証拠書類を精査いたしましたが、記帳その他正確であることを認めます。

平成27年6月11日

会計監査 山口 良児 ㊟

土屋 忠得 ㊟